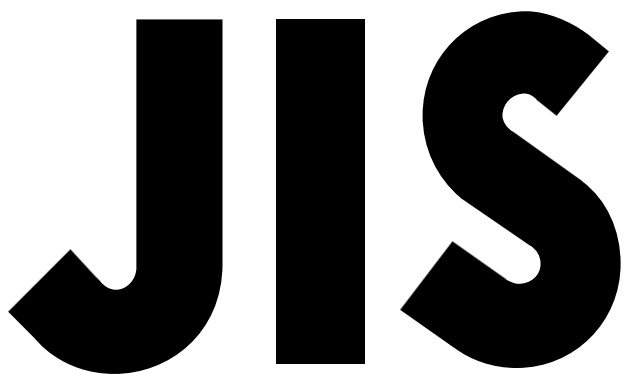




全プラスチックマルチモード光ファイバ素線

JIS C 6837 : 2022

(JSA)

令和 4 年 2 月 21 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 電子分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	平 本 俊 郎	東京大学
(委員)	石 井 紀 彦	日本放送協会
	河 村 真紀子	主婦連合会
	渋谷 隆	株式会社白山
	諏 訪 正 樹	KOA 株式会社
	内 藤 恵美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	藤 井 哲 郎	東京都市大学
	松 井 隆	日本電信電話株式会社
	山 口 大 輔	総務省国際戦略局
	山 田 誠	大阪府立大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 4.9.1 改正：令和 4.2.21

担 当 部 署：経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 4.2.21

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会
(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル)

素 案 作 成 者：一般財団法人光産業技術振興協会
(〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル)

審 議 委 員 会：電子分野産業標準作成委員会（委員長 平本 俊郎）

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 形名及び種類	2
4.1 形名の構成	2
4.2 種類	2
5 材料, 形状及び寸法	3
5.1 材料及び形状	3
5.2 寸法	3
6 特性	4
6.1 機械特性	4
6.2 伝送特性	6
6.3 環境特性	6
7 包装及び 1 条の標準長さ	8
8 製品の呼び方	8
9 表示	8
附属書 A (規定) PSI-980/1 000-A1 及び PSI-980/1 000-A2 光ファイバ素線の詳細仕様	9
附属書 B (規定) PSI-735/750 光ファイバ素線の詳細仕様	11
附属書 C (規定) PSI-485/500 光ファイバ素線の詳細仕様	13
附属書 D (規定) PSI-980/1 000-B 光ファイバ素線の詳細仕様	15
附属書 E (規定) PGI-500/750 光ファイバ素線の詳細仕様	17
附属書 F (規定) PGI-200/490 光ファイバ素線の詳細仕様	19
附属書 G (規定) PGI-120/490 光ファイバ素線の詳細仕様	20
附属書 H (規定) PGI-62.5/245 光ファイバ素線の詳細仕様	22
附属書 I (規定) PGI-55/490 光ファイバ素線の詳細仕様	24
附属書 J (規定) モードスクランブラの仕様	26
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	27
解 説	28

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS C 6837:2015** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

全プラスチックマルチモード光ファイバ素線

All plastic multimode optical fibers

序文

この規格は、2021年に第5版として発行された IEC 60793-2-40 を基とし、対応国際規格には規定されていない規格項目（標準大気条件、包装、製品の呼び方及び表示）を追加するなど、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、コア及びクラッドにプラスチックを使用した、ステップインデックス形及びグレーデッドインデックス形マルチモード光ファイバ素線（以下、光ファイバ素線という。）について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 60793-2-40:2021, Optical fibres — Part 2-40: Product specifications — Sectional specification for category A4 multimode fibres (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 6820 光ファイバ通則

JIS C 6822 光ファイバ構造パラメータ試験方法—寸法特性

JIS C 6823 光ファイバ損失試験方法

JIS C 6824 マルチモード光ファイバ帯域試験方法

JIS C 6825 光ファイバ構造パラメータ試験方法—光学的特性

JIS C 6827 光ファイバ波長分散試験方法

JIS C 60068-1 環境試験方法—電気・電子—第1部：通則及び指針

IEC 60793-1-47, Optical fibres — Part 1-47: Measurement methods and test procedures — Macrobending loss

IEC 60793-1-50, Optical fibres — Part 1-50: Measurement methods and test procedures — Damp heat (steady state) tests

IEC 60793-1-51, Optical fibres — Part 1-51: Measurement methods and test procedures — Dry heat (steady state)